

知床周辺海域の調査実施状況表

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体
海洋環境	水温・水質	ブイ設置による定点観測	海洋観測ブイを1基設置し、水温、水質(塩分濃度・クロロフィル)を観測	羅臼	通年	10月～相泊沖	H18～	環境省・漁協
		衛星画像による海洋環境の変動の把握	リモートセンシングにより水温・流況分布・クロロフィルを把握	知床半島を含む半径300km以上の海洋	通年		H18	環境省(北大)
		海洋観測調査	産卵量調査時に水温・塩分を層別に観測	羅臼	年3-4回(2-4月)	H1年以降	H13～	羅臼漁協
		海洋環境調査	水温・塩分・流向流速・透明度などを北水試が定期海洋観測	オホーツク海(知床岬沖定線)	年5回(2月を除く偶数月)	稚内水試試験調査船北洋丸	H3～	水産林務部
		定期海洋観測(・海洋環境調査)	水温、塩分、流向、流速、透明度などを観測	オホーツク海	4, 6, 8, 10, 12月		S59～	水産林務部
		海洋観測調査(・資源評価調査(国受託))	サンマ漁期前調査の際に水温、塩分、透明度などを調査	オホーツク海	8月下旬～9月上旬		S52～	水産林務部
		深層水水温・塩分調査	汲み上げ深層水の水温・塩分を観測	羅臼	毎時	羅臼町	H13～	羅臼町
	海洋観測調査	水温・塩分・栄養塩・プランクトン・クロロフィル	オホーツク海	年3～4回		H12～	北水研・亜寒帯海洋環境部	
流水	流水データ	海水観測データ	気象庁・海上保安庁		斜里・羅臼	月別	気象庁:1946以降	
指標種以外の生態系構成種	動物相	魚類相調査	採網調査	斜里・羅臼	随時	H6～H16調査	H13～	知床博物館
		動物プランクトン相調査	ベントス層調査	ウトロ	2月	H17予備調査	H17	国立環境研究所植渡氏
	動物・植物相	水中ロボットを用いた生物群集のモニタリング	水中ロボットを用いてプランクトン・魚類を観察	知床半島沿岸	秋・冬	科研究費(一部環境省負担)	H17～	北大根井先生代表・環境省(H18)
		知床沿岸の浅海域生物相調査	魚類・ベントス・海藻・海草	ウトロ・羅臼・岬周辺	夏と秋の2回	ウトロ3カ所・羅臼3カ所・岬1カ所	H18～	環境省
	植物相	群集構造把握調査	魚類等	ウトロ・斜里			H19～	環境省
		エゾバクウニ分布密度調査	採採り法により分布密度を調査	羅臼	6-8月	採採り法で植物相・分布量調査	H13～	羅臼漁協等
浅海藻場調査	知床半島のコブ場の現状と特徴の基礎情報を得るため、ベルトランセクト内の海藻・海草類を採取	羅臼(ベキンの鼻付近)	7月		H18	生物多様性センター		
鯨類	ストランディング調査	沿岸にストランディングした鯨類の調査	斜里	随時	漂着情報を元に活動	H16～	知床博物館	
指標種	シロサケ	河川生態環境調査(・サケの自然再生産効果に関する研究)	遡上親魚数の推定、自然産卵環境の把握、降河稚魚数の推定、自然産卵及び人工孵化稚魚の河川内回帰親魚数の推定。	楢別川	毎年 河川への遡上時期の6月から稚魚降河時期の6月まで随時	下記ほぼ産地域外	H16～H22	水産林務部
		河川遡上親魚調査	河川に遡上して捕獲された親魚の鱗による年齢査定等	(近隣の網走川・標津川)	遡上中随時	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	継続的に毎年	水産林務部
		沿岸来遊親魚調査	沿岸で漁獲された親魚の鱗による年齢査定等	(近隣の網走地区・標津地区)	漁期中3回	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	継続的に毎年	水産林務部
		稚魚採捕放流調査	放流稚魚に標識し、3～5年後に回遊する親魚の状況を把握	(近隣の網走川・標津川)	1河川につき2カ年	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	H17年度～H19年度(予定)	水産林務部
	親魚採捕放流調査	沿岸で漁獲された親魚に標識して再放流し、数日～数週間後に採捕される状況を把握	(羅臼～近隣野付半島のうちの1カ所)	漁期中1回	シロサケの来遊資源予測業務の一環により調査	H20年度(予定)	水産林務部	
	カラフトマス	河川生態環境調査(・オホーツクサーモンの遡上と不遡上の集団特性に関する研究)	成魚・稚仔魚に係る生物学的特性と生態的特性、野外調査と一定環境下での飼育試験。	楢別川・斜里川・サシレイ川・湧別川	毎年 河川への遡上時期の6月から稚魚降河時期の6月まで随時		H17～H19	水産林務部
	サケ科魚類	遡上状況調査	河川別遡上状況、産卵床	産地域内河川	7月～	シロサケ、カラフトマス、サクラマス、(オシロコマ)	H15～	道環境生活部、環境省(H15)
		回帰状況調査	岩尾別川・楢別川サクラマス遡上調査	岩尾別川・楢別川	年1回	サクラマス	H11～	斜里町
サケ科魚類による栄養塩輸送に関する調査		・サケの遡上実態及びヒグマによるサケの利用実態の把握 ・サケ・ヒグマ・ヤナギ等のサンプルを採取し、炭素・窒素安定同位体分析を行う	岩尾別川・ルンヤ川・テッパン・ベツ川	遡上時期		H18～	北大・環境省	

知床周辺海域の調査実施状況

構成要素	調査対象	調査項目	内容	対象地域(漁協)	頻度	備考	調査年	調査主体	
指標種	ブラウントラウト	河川生息調査	生息状況調査、食性調査、生息個体数の推定を行い、さけますの再生産への影響評価を実施。	ルシャ川、岩尾別川、ルサ川、サシルイ川、モセカルベツ川、羅臼川	各河川5月～6月と、週上時期各1回	平成17年度の単年度調査	H17	水産林務部	
	スケトウダラ	漁獲統計調査 (・漁業生物の資源・生態調査研究) (・資源評価調査〔国受託〕)	北海道水産現勢元資料及びマリンネット北海道による月別・漁法別漁獲量を集計	羅臼漁協	適宜		S56～	水産林務部	
		生物調査 (・漁業生物の資源・生態調査研究) (・資源評価調査〔国受託〕)	漁法別・銘柄別の性別、年齢、体長、体重、生殖腺重量、成熟度などを測定	羅臼漁協	11～3月、1～2回/月		S56～	水産林務部	
		計量魚採調査 (・漁業生物の資源・生態調査研究)	魚群の分布特性・日周移動などを調査	根室海峡		釧路水試試験調査船北辰丸	H8～	水産林務部	
		漁獲統計調査 (・資源評価調査〔国受託〕)	北海道水産現勢元資料及びマリンネット北海道による月別・漁法別漁獲量を集計	斜里第一漁協 ウトロ漁協	随時	調査は今後も継続予定	S80～	水産林務部	
		生物調査 (・資源評価調査〔国受託〕)	年齢、再入長、体重、生殖腺重量、成熟度、胃内容物を調査	網走漁協	年2回		S52～	水産林務部	
		産卵量調査	プランクトンネットにより産出卵量を調査	羅臼	年2回(4-5月) (流水のため4月以降のみ)	根室海峡B地点	H13～	北水研 (水産庁の委託事業)	
		卵・仔魚分布調査	リングネット(80cm)及び海洋観測	(根室海峡～道南太平洋)	5月	40地点	H13～	北水研 (水産庁の委託事業)	
		オホーツク海重要底魚類生態調査	トロール、NORPAC、魚探	(オホーツク海)	5月	40地点	H13～	北水研	
	繁殖行動等調査	水中ロボットカメラ	羅臼陸棚	3月	科研費	H17～	北大榎井先生代表		
	海獣類	海獣上陸状況調査		斜里	随時	能取岬～知床岬	H16～17	知床博物館	
	トド	トド来遊及び被害実態調査	道内におけるトドによる被害状況を把握するため、漁業者の目視状況や被害状況を把握。	全道	毎年	全道の状況を把握する調査であり、漁協個別のデータの公表はしていない。		H1～	水産林務部
		捕食影響調査	捕獲個体の性別、年齢、体長、体重、成熟、胃・腸内容物などを調査	羅臼	12-3月(捕獲がある場合は6月末まで)	北海道水産研究所(水産庁の委託事業)	H16～	水産庁	
	アザラシ	生息調査	生息状況及び漁業被害調査	羅臼	冬期		H15～	環境省(H15)、環境省生活部(H15～)	
	海鳥類	ケイマフリ営巣調査	生息地・営巣地調査	斜里	夏季	福田氏のモニタリングの一部	H16～	環境省	
		海鳥分布調査	生息地・営巣地調査	斜里	夏季		H13～	知床海鳥研究会	
		海鳥繁殖状況調査	半島海岸線における海鳥繁殖状況の長期的なモニタリング	斜里・羅臼	6月		H15～	海鳥類長期モニタリング調査グループ(知床財団、知床博物館、羅臼町ほか)	
	海ワシ類	オオワシ・オジロワシ保護増殖事業		道東他				環境省(オオワシ・オジロワシ検討会の議論を踏まえ検討)	
		営巣調査	営巣環境調査	斜里・羅臼			H16～	知床博物館他	
		営巣調査	オジロワシの繁殖状況に関する長期的なモニタリング調査	斜里・羅臼	通年		H15～	オジロワシモニタリング調査グループ(知床財団、知床博物館、羅臼町ほか)	
		渡り状況調査	渡り状況調査	斜里・羅臼	10-11月		H16～	知床博物館他	
		渡来数調査	個体数目視センサス	羅臼	12-4月	羅臼ピタターセンサーマップにより実施	H9～	羅臼町	
	利用の適正化	観光船調査	観光船の運航ルートの確認	斜里			H17～	環境省	
データベース化	既存の漁業データ調査データや新たな調査データを整理する。(・漁獲量(水試)・環境要因データ(水温等)・魚類調査結果(知床博物館)・海藻・海草調査結果(羅臼漁協))					H18～	環境省		